## (会員限定)「営業の基本研修」のご案内

主催:企画運営会議

当工業会では、「会員満足に重きを置いた工業会活動」の一環として、JEMIMA 会員企業の人材育成の一助となることを目的に、人事系教育研修プログラムを提供しております。 今回は、今年度第2回目の「営業の基本研修」を開催いたします。

(大阪開催 (7/5) は、6/19 まで参加受付中です)

本研修は、営業スタイルを模索中の若手営業職の方を対象に、営業力の高め方を基礎から指導します。顧客を「その気」にさせる提案型営業の手法を実践的に習得出来ます。

また、今回は研修の最後に本会場において、交流会(17:00~17:30)を開催します。

会員各社の社員の人材育成に是非お役立ていただきたく、奮ってご参加くださるようお願いいたします。

— 記 —

日 時: 平成29年7月10日(月)9:30~17:30(9:00受付開始)

会 場: JEMIMA 本部 計測会館 4 階会議室

東京都中央区日本橋蛎殻町 2-15-12

(最寄り駅:東京メトロ 水天宮前、又は東京メトロ・都営浅草線 人形町)

対象者: JEMIMA 会員で営業職での経験がおおよそ5年以内の方。

内 容:セッションの主なテーマ

- 1. 時代が求める提案型営業
- 2. 営業力を高める
  - ・顧客のニーズを聞き出す。
  - ・顧客の話を受けとめる。
  - その気にさせる提案の仕方Ⅰ、Ⅱ
  - ・営業のシミュレーション (ロールプレイ)
- 3. 【特別】交流会(17:00~17:30)
- ※詳細は下記「営業の基本研修」のスケジュールをご参照ください。
- ※時間配分及び研修項目は変更になる場合があります。

講 師:一般社団法人 人財開発支援協会 代表理事 雨宮 利春 氏

参加費: JEMIMA 会員限定 5,000 円 (税込)

(当日、会場受付で現金にてお支払いください。領収書をお渡しします。)

定 員:36名 定員になり次第締め切らせていただきます。

申 込:受講者本人名で申込み願います。参加申込: http://www.jemima.or.jp/event/seminar/semi170710.html

締 切: 平成29年6月22日(木)

問合せ:一般社団法人日本電気計測器工業会 事務局 松川宛

電 話:03-3662-8185

E メール: matukawa@jemima.or.jp

その他:研修参加者には事務局より「研修参加のご案内」をお送りいたします。

また、研修終了後には、「修了証書」を授与いたします。

## 「営業の基本研修」スケジュール

| コンテンツ                  |  |   |
|------------------------|--|---|
| 9:30                   | □ オリエンテーション  | ・ンツ<br>◆ 研修の諸注意・アイスブレイク   |
| 9.30                   | <ul> <li>【時代が求める提案型営業】</li> <li>●時代が求める営業<br/>顧客満足とWIN/WIN<br/>提案型営業とは顧客の問題解決<br/>信頼と信用の違い<br/>嫌われる営業担当者とは?</li> </ul> | ◆営業の仕方が変わった ・KKD(経験・勘・度胸)だけでは売れない ・顧客も欲しいものが分からない時代だからこそ 積極的に働きかける必要性 ・信頼されるとはどういうことか? ・あなたは顧客に嫌われていないか   |
| 11:30                  | 【営業力を高める】  ●顧客ニーズを聞き出す 潜在ニーズ把握のための質問法 各種質問法 質問シート作成(個人) グループ内発表  | ◆ 顧客のことは顧客に訊け<br>・御用聞き営業からの脱却<br>・顧客が本当に求めているものは何か<br>・質問の組み立て方を学ぶ<br>・実際の顧客を想定して質問トークを作成   |
| 12:30                  | <ul><li>■顧客の話を受けとめる<br/>聴き方の技術・5つの「はい」<br/>フィードバック技法<br/>顧客の本音を引き出す聴き方<br/>傾聴のロールプレイ (グループ)</li></ul>                  | ◆話し上手は聴き上手 ・もっともっと顧客に話をさせよう ・自分の話を聴いてもらえれば、営業マンの話も 聞こうという気にもなる ・ロールプレイで聴くことの難しさを体験  |
|                        | ●その気にさせる提案の仕方 I<br>セールスポイントとは何か<br>セールスポイント 4 つの視点<br>顧客のメリットを明らかにする   | ◆自社商品に惚れ込む ・本当にセールスポイントがわかっているか? ・自社商品の優位性を明らかにする ・顧客が本当に知りたいのは他社製品との違い   |
|                        | ●その気にさせる提案の仕方 II<br>提案の論理構築<br>帰納的論理展開・演繹的論理展開<br>提案トークの作成<br>説得の三要素<br>反論への対応法<br>応酬話法の構築                             | <ul> <li>◆わかりやすく伝える技術</li> <li>・わかりやすいとは論理的であること</li> <li>・セールス論理の組み立て方を学ぶ</li> <li>・実際に提案トークを作成し検証する</li> <li>・信頼性-論理性-熱意をもって顧客を説得する</li> <li>・予想される反論を明らかにし、それに対するトークを作成する</li> </ul> |
|                        | ● <b>営業のシミュレーション</b><br>営業のロールプレイ<br>顧客役・営業担当者役・観察者<br>ロールプレイのふりかえり  | ◆ 実践のための訓練<br>・実際の営業場面を設定して営業担当者になりきってロールプレイしてみる<br>・実施に向けての教訓  |
| 17:00                  | ●今後に向けてまとめ   |   |
| $17:00$ $\sim$ $17:30$ | 交流会  | 講師を交えたコミュニケーションタイム  |